

世界各地で出会った土着音楽の音楽家とともにつくる、Harmony Fieldsのプロジェクト。

Roots

# 太古からの

台湾パイワン族の歌をルーツに、  
古代の旋律を現代へと響かせる

## サウヤーリ

[台湾] (唄/月琴)

Sauljaljui

奄美大島の自然とともに生き、  
島唄の魂を世界へ伝え続ける

## 里アンナ

(奄美島唄/三線)

Anna Sato

インド、チベット、ペルー、  
巡礼の旅のなかで、歌を紡いできた

## YUINO

(唄/ギター)

YUINO

# 島

# 島・大地・巡礼

阪神梅田本店「台湾&沖縄 チュラネシアへの旅・亜熱帯フードトリップ」連動企画

2026. 3/9 月

開場 18:00 / 開演 18:30 一般 4,000円

## 島之内教会

大阪市中央区東心斎橋1丁目6-7

※2/1(日) 10:00チケット発売 ※整理番号順入場  
※当日券は、4,500円(税込)となります。  
※未就学のご入場はお控えください。



Music Brings Us Together  
Harmony Fields  
www.harmony-fields.com

ハーモニーフィールズ ☎0798-55-9833

公演・チケット情報

# 「国境ではなく根でつながる」

A n c i e n t R o o t s M u s i c

生まれ育った土地も、歩んできた道も異なる3人の声は、  
国境を越え、文化を越え、太古から続く“根”の深いところで静かに繋がっている。  
ジャンルを超えた共演ではなく、人が歌うことの原点に立ち返る、ひとつの音楽体験。  
Ancient Roots その声と音は、私たち自身の内側にある記憶を、そっと呼び覚ましていく。

Sauljaljui



“境界なき野生” 台湾南部パイワン族出身の原住民シンガー

## サウヤーリ [台湾] (唄/月琴)

パイワン族に伝わる旋律や、恒春民謡(台湾南部に伝わる、暮らしや感情を即興的に歌う民謡)をルーツに、月琴(ユエチン)を巧みに操りながら、太古の響きと現代的な感性を融合させた独自の音楽世界を築いてきた。2016年のファーストアルバム発表以降、台湾国内で高い人気と評価を獲得。2024年リリースのアルバム『VAIVAIK 尋走』は、金曲奨・金音創作奨・Global Music Awards 三冠。台湾の主要音楽賞を席卷し、伝統を継承しながら現代へと更新するシンガーとして、国際的な注目を集める存在となった。アジア、北米、ヨーロッパ、オセアニアの主要フェスや国際ショーケースに招聘され、原住民音楽を現代へとつなぐ存在として高く評価されている。

奄美の伝統と自然、島唄の魂を世界へ

## 里アナ (奄美島唄/三線)

奄美大島出身の島唄シンガー。3歳より祖父に島唄を学び、奄美に伝わる唄の精神性を核に、ジャズやR&B、現代音楽、舞台表現へと世界を広げてきた。2005年、「愛・地球博」への出演を機にメジャーデビュー。以降、舞台・演劇・映像作品へと活動の幅を広げ、ミュージカル『レ・ミゼラブル』ファンティーン役をはじめ、国内外で高い評価を獲得している。佐々木俊之と「Anna Sato × Toshiyuki Sasaki」を結成し、2017年にはパリでの単独公演を成功させた。その声は国境を越え、コルシカ島の音楽祭やニューヨークでの島唄ソロ公演など、世界の舞台上で響いている。南米、アイヌ、奄美といった異なる文化圏のアーティストとの共演を通じ、島唄を起点とした越境的な音楽表現で、“唄の未来”を切り拓くアーティスト。

世界を歩き、出会った光が歌になる

## YUINO (唄/ギター)

2000年生まれシンガー・ソングライター。幼い頃から「旅=表現」を体現し、世界各地を巡りながら、人々の暮らしや祈りの声を歌に紡いできた。18歳で初めて海外放浪を経験し、カナダでの長期旅をもとに書籍を刊行。2023年には1年間の南米音楽修行のひとり旅に出て、アマゾンやアンデスの先住民族の響きに触れる。2024年7月に公開したMV「人生の旅」は幅広い世代の共感を集める。2025年1月ファースト・アルバム『ワワソソ』を発表。同年、インド、チベット、ペルーの聖山を巡る約8か月の巡礼の旅を行い、その後、沖縄や台湾でも公演を行う。昨年12月にはMV「たたかいのあと」を公開。音楽ライブやトークを通して、内なる旅と外なる旅の融合を提示している。

3/11 水 サウヤーリ出演

13:00 ミニライブ  
15:00 トークイベント

連動  
企画

「台湾&沖縄 チュラネシアへの旅・亜熱帯フードトリップ」

阪神梅田本店・1階食祭テラス 3/11(水) ▶ 16(月)

台湾と沖縄の食と雑貨と音楽ライブが楽しめるフェス初開催。

台湾と沖縄を一つの文化圏として紹介する書籍「チュラネシアへの旅」をイベント化しました。  
この2つの群島をひとつのエリアと見立てるとアジアで最も多様な食とカルチャーをもつ新しいエリアになるのでは…。  
そんな思いで“美ら(チュラ)”と“ネシア(島々)”を組み合わせて著者の三枝克之氏が命名。  
ポリネシア、メラネシア、ミクロネシア、インドネシア…に続く新しい“ネシア”を体験してください。



食祭テラスWEBサイトには  
2月25日詳細情報公開